

Q

消防職員による住宅用火災警報器設置は可能か

A

消防関係団体と調整を図り調査研究を進める



ひでお きもと 秀樹 福島 福島



映像はこちらから

市内の住宅用火災警報器の設置状況は。

全国火災予防運動や各種イベント等において、啓発活動を行い、平成24年6月時点で61・2%だったが、11年間で19・4ポイント上昇し、令和5年度で80・6%となった。

住宅用火災警報器が動作したことによる効果があった事例は。

住宅用火災警報器の作動音により火災に気づき、素早い初期消火等を実施したことで被害が軽減された。

住宅用火災警報器の取付けや電池交換などの作業が困難な高齢者世帯に対し、消防職員による取付け作業などの無償サポートの実施は。

県内の26消防本部中13本部が実施し、電池交換については26消防本部中7本部。実績は人口規模にも差

異はあるが、近隣の消防本部で年間2件から9件の取付け実績がある。本市においては、現在、取付け支援は行っていないが、他消防本部の状況を調査し、取付け対象者や実施方法などを検討、消防関係団体と調整を図りながら調査研究を進める。

ゼロカーボンシティふかや宣言について

2030年までに二酸化炭素排出量を46%、削減目標を掲げているが、現在の程度削減できているのか。

2020年度時点で20・1%削減、順調に推移しており、目標達成は可能と考えている。行政・事業者・市民全体で協力し取り組んでいく。

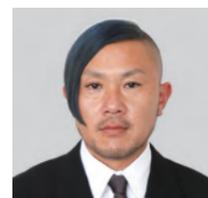


Q

森林環境譲与税をどのように活用しているか

A

鐘撞堂山の保全や各種イベントにて活用している



ひでお きもと 秀興 田島 島



映像はこちらから

酒瓶不足が問題となっており、市でリターナブル瓶の収集は可能か。

販売店など、調査研究していく。

市内に生息するオオタカなどの希少生物の保護、生態系保全への取組を何か考えているか。

オオタカは埼玉県レッドデータブックにも掲載されている希少な鳥であり、県では「埼玉県オオタカ力等保護指針」を作成している。県と連携しながら、オオタカなどの希少生物の保全・保護に取り組んでいく。

自然環境・生態系保全に関して、環境省の「いきものログ」が有用かと思うが、市の考えは。

本市においても、生物多様性の大切さについて考えるための情報交流の場として有用なものと考えている。今後はHP等で周知していく。



環境啓発ポスターコンテストの「大人の部」を考えてみてはどうか。

環境ポスターに限らず、より多くの世代の方が参加できるコンテンツについて研究していく。

耕作放棄地や植木が長年植生している農地が希少生物にとって重要な生息地となっている場合、農地の適正利用と希少生物の保護をどのように考えるか。

農地の適正な管理と希少生物の保護は共に重要であることから、農地において、希少生物の生息がわかった場合には、関係各機関と調整を図り、状況に応じた対応を行っていききたい。

Q

全国プロッコリーサミットを企画しては如何か

A

自治体間で交流を図り、機運の醸成に努めたい



よしのり 徳 義 角田 田



映像はこちらから

深谷市の特産品であるプロッコリーが指定野菜になることが発表された。市民の機運を盛り上げるため、より一層のPRをすべきでは。

プロッコリーは指定野菜になると発表されたことにより、今一番注目を浴びている野菜である。本市は、プロッコリーの産出額、作付面積、経営体数が市町村別で日本一であるが、そのことはまだまだ知られていないと思われる。今後はこのことを多くの国民に知ってもらおう。市内外の各種イベントはもちろんのこと、あらゆる機会を捉えて、指定される2026年度までにプロッコリー＝深谷と認知されるよう、PRを全面的に行っていきたい。

ター岡部荘の解体時期と跡地の有効利用についての考えを聞きたい。

廃止当時は建物を解体し、隣接のB&G海洋センター体育館及び岡部中央公園の駐車場として当面の間使用していく方針だったが、その後B&G海洋センターの施設が廃止となったため、駐車場としての必要がなくなった。改めて跡地の活用を検討したが、活用策が見いだせなかったため、売却または貸付による活用で検討を進めている。今後は、売却か貸付かを決定し、売却の場合は、更地とした後の売却とするか、または建物解体条件付きの入札とするかなど、具体的な手法を検討し、早期に活用方針を決定し取り組んでいく。



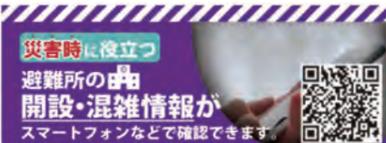
大田市場でプロッコリーをPR

廃止した公共施設の管理について

旧岡部公民館、老人福祉セン

水害時等の避難所の開設について

【避難所混雑情報サイト】



【Web版深谷市ハザードマップ】

